



昭和村

議会だより

第 166 号

令和 3 年 8 月 18 日 発行



未来の議会議員？役場探検！保育所園児が議場見学に訪れました。

発行／昭和村議会
編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

目 次

- 期待に応えられる議会を目指して… 2
- 村政を問う …… 3～8
- 議案審議の内容 …… 9～11
- 議会活動の報告・お知らせ … 12

期待に応えられる議会を目指して

令和3年第2回議会定例会において、議長、副議長をはじめ各常任委員などの選任が行われました。

第2回議会定例会が開かれ、正・副議長の辞職に伴い行われた選挙で、議長に馬場政之議員（3期）、副議長に馬場栄三議員（3期）がそれぞれ選任されました。

今回の議会人事は、正・副議長から辞職した旨の意向が示されたことによるものです。選挙の方法は、指名推薦で行われました。



副議長 馬場 栄三



議長 馬場 政之

委員会などの 構成

○議会運営委員会

委員長 青木 秀元
副委員長 栗城 徳雄
委員 栗城 敏郎
委員 渡部 節雄

○総務厚生文教 常任委員会

委員長 栗城 敏郎
副委員長 青木 秀元
委員 東原 源伯
委員 馬場 政之

○産業建設常任委員会

委員長 渡部 節雄
副委員長 菅家 敏章
委員 栗城 徳雄
委員 馬場 栄三

○会津若松地方広域

市町村圏整備組合議員
栗城 徳雄

○昭和村監査委員

東原 源伯

この他、各種の審議会や委員会の委員も選任されました。

就任の

ごあいさつ

議長 馬場 政之

村民の皆様には日頃から村議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、6月の議会定例会におきまして、議員皆様のご推薦をいただき、村議会議長の要職に就かせていただきました。もとより微力ではございますが、身を挺して努力す

る覚悟でございます。

本村におきましては、本年度より第6次振興計画による村創りが開始されました。本村の発展と住民福祉の向上に真剣に努めてまいります。

また、行政と議会の二元制を重んじ、議会は執行機関の行財政が「適正」「公平」「効率的」であるかを注視し、是々非々の立場で村政発展に取り組んでまいります。

村民の代表として、皆様の思いをしっかりと受け止めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を、お願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の早期収束を願い、就任のあいさつといたします。

村政を問う

一般質問



渡部 節雄 議員

Q 地域づくり懇談会の早期開催を望む。

問 コロナ禍により、昨年は村政懇談会が開催されませんでした。現在、ワクチン接種も順調に進み、ポストコロナの施策の一つとして、地域づくり懇談会の開催を、8月中旬にでもできないものか。

答 上げ、村政に反映させるという、この基本的なことができていくかどうか。昭和の森のキャンプ場をオープンし続けながら、村民には外出自粛を求める。この矛盾した施策をどう説明されますか。

村長 今年度の地域づくり懇談会については、ワクチンの接種状況や効果を注視するとともに、村内及び近隣町村並びに県内の感染状況なども勘案した上で、その開催の可否を含め、時期や方法などを決めてまいりたい。

問 村長と村民との距離感、これが非常に大事です。村民の声を吸

村長 昭和の森キャンプ場の営業につきましても、コロナ対策を定めたガイドラインに沿って、利用者全員の健康確認はもとより、手指消毒などの感染防止対策や密閉・密集・密接の3密の回避を徹底した上で、利用者を受け入れていく。県の非常事態宣言が発令されていた間の対応については、県の感染症対策本部が示しています緊

急特別対策に反するものではない。

問 村民との距離感を感じる例として取り上げるのが、村税滞納処理の件です。昨年12月の議会でも今年3月議会でも村民に対しての説明は重く受け止め、よくよく検討するとの答弁でした。いまだ結論を聞いておりません。結論を出せないということは、検討されていないということにほかならないと考えます。議会での答弁が口先ばかりでは、議会の存在意義が問われる。

村長 不納欠損として処理をした場合は、決算書に計上し、議会の承認を求めることとなりますので、この時点で経緯を説明したいと考えています。この法人は、清算終了がまだ済んでない。これが終わって不納欠損が、という段階になったら、議会にももちろん、村民にも、内容について説明をする必要があるかと考えています。

問 私が申し上げているのは、行政と村民との信頼関係、または距離感です。不納欠損処理ができるのは、恐らく2年後ぐらいか、それまで議会で取り上げながら、全然説明しないというのは、村民との距離感を広げる一方になるのではないかと。

村長 その必要性は私も十分感じています。しかし、これについては道半ば、不透明な部分もある中で、現段階でその途中経過を村民の方に、あるいは議会の方に申し上げるといふことは、控えたい。

Q デジタル活用について、より詳しい説明を求めます。

問 3月議会でも申し上げたのですが、全村Wi-Fi化整備事業の必要性、特に聞きたいのは、全村Wi-Fi化しなければ出来ない事業とは何なのか3月議会の村長答弁は、ドローンや気象情報の

収集、作物の育成診断、有害鳥獣の追い払い等を挙げておられますが、それは全て、現有設備で可能です。

村長 第6次振興計画の村民基礎調査でもWi-Fi整備の要望や、第2期総合戦略策定検証委員会でも、公共インフラWi-Fi整備は、暮らしは間違いなく便利になり、リモートワークを実現する企業誘致にもつながるとの意見もあり、整備を期待する村民の声も多く聞かれています。

問 私の質問は、全村Wi-Fi化しなければできない事業とは何ですか？という質問です。これにお答えください。

総務課長 様々な分野での行政側での活用、村民自らの活用というの大きい期待される。公共Wi-Fiを整備する事で、無料化の電波の利用が出来る。村内全域で公共Wi-Fi設備を整備して行きたいという事です。

村政を問う

一般質問



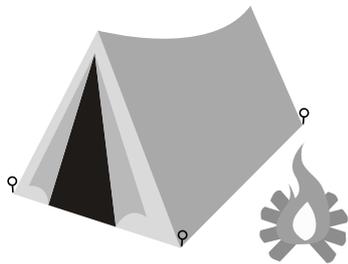
栗城 徳雄 議員

Q コロナ禍、昭和の森キャンプがしらかば荘で温泉入浴、新型コロナウイルス感染症対策の矛盾を問う。

問 村民には不要不急の外出はしないよう、毎日防災無線で呼びかけているさなかに、多くの村外のキャンパーが温泉入浴にきたことで、村民が感染への恐怖を感じた。中には緊急対策発令中の地域の方がいたかもしれないのに、キャンプ受入は代表者だけの検温でオーケーだというような話も耳にし、村民が不

安を感じるのには当然である。村民に厳しくしても、村外の方を限りなく受け入れ、村民と接触する機会を増やされたのでは、感染のリスクは増加することになる。村長はこの矛盾した対策をどのように思っているのか。どういう考えで感染を防止しようとしているのか、非常に疑問を感じているので伺う。

村長 昭和の森キャンプ場については、徹底した感染防止対策の下、営業をしている。しかしながら、感染リスクを恐れて、村民がしらかば荘を利用できなかったとも聞き、5月20日から5月31日まで、この間は、村民としらかば荘宿泊者に限って、日帰り入浴を利用できる時間を設け、不安の解消に努めてきた。なお、時間の割り振りにより、安心して利用できるようになってきたとの声もいただいております、これは6月末まで継続する予定でいる。



Q 代表監査委員をすぐに選任しなかつたのはなぜか。

問 3月に代表監査委員の辞職届が提出されたと同った。

代表監査委員がいなければ、速やかに後任を選任する必要があるが、後任について議会の同意を求めたのは、5月17日であった。

速やかに代表監査委員を選任しなかつた理由について伺う。

村長 突然の辞任であり、後任については、

自治体の財務管理、事業の経営管理、その他行政運営に関して優れた識見を有する者であるほか、地方公会計制度や公営企業会計制度の財務書類にも見識のある方を選任するため、慎重に人選を進め

たことから、5月の議会臨時会で人事案を提出させていただいた。

問 監査委員が行う職務で行われなかつた検査はなかつたのか。代表監査委員がいなかったこと、検査等が行われなかつたことで問題はなかつたのか、伺う。

村長 出納例月検査と呼ばれる現金出納の検査及び公金の収納などの監査を毎月15日に行うとされており、やむを得ない理由があるときはこれを変更できると、昭和村監査委員条例で定められている。

出納例月検査の結果は、毎回、村長と議長にそれぞれ報告書が提出されており、職務は行われたと確認しているため、問題はないと考えている。

村政を問う

一般質問



栗城 敏郎 議員

Q 国道401号新鳥居峠の道路改良に関する進捗状況を示せ

村長 この事業について、会津若松建設事務所に伺ったところ、「当該路線の役割と機能を明確にするために、路線計画の策定について作業を進めております」との回答をいただいた。早期の事業が図られるよう、引き続き関係市町村と連携を図りながら、県などに對し、積極的な要望活動を実施して参りたい。

Q 八十里越全面開通を控えて、課題解決の協議・検討は進んでいるのか

村長 奥会津地域の7町村で構成する只見川電源流域振興協議会では、令和元年度に策定した第4期振興計画に基づき、奥会津地域全体の交通網の拡充を見据えた奥会津7町村の連携促進事業や、地域内の経済や人の動きの活性化、また、移動効率高めること等を目指し、各種施策への取組を開始したところである。しかしながら、コロナの影響を受け、予定していた事業の中止や縮小等が余儀なく

され、課題の解決に向けた協議・検討は進捗していない状況である。

Q 特定地域づくり事業協同組合制度について、村の対応・認識を示せ

村長 特定地域づくり事業協同組合制度は、本村にとって有効な制度であると認識しているところではあるが、今後行われる村内各事業等への参加意向の結果等を考慮しながら、財政支援の対応について検討して参りたい。

Q 会津地域課題解決連携推進会議について

村長 この事業は13市町村と民間組織・県の関係機関が連携し、要望だけに止まらず、具体的な課題解決に向けて構成員自らが率先して

課題解決に取り組むことを掲げ、副首長が意思決定権を持ち具体的な調整を行うが、本村の優先的に掲げる事業等について考えを示せ。

村長 今年度は、人口減少対策、地域産業の活性化、暮らしやすい地域づくりを柱に掲げ、新型コロナウイルス感染症対策とともに、これらの取組を支える基盤として、DXの推進が位置づけられた。先に実施された市町村業務量調査の結果を用いながら、自治体業務の標準化に向けた作業を進めたい。また、鳥獣被害対策についても、喫緊の課題であり優先的に取り組んで参りたい。

Q 地域医療の充実について

村長 現在、坂下厚生病院の新築工事が進んでいるなか、県立宮下病院の建て替えの方針も打ち出されており、広域体制の充実により更に地域医療が確保されることになる。環境を整うことは喜ばしいことだが、新たな課題や懸念はないのか。

村長 近隣町村の二次医療体制や在宅医療体制の充実、村民の安全・安心にとって非常に有意義である。一方で、県が主導する在宅医療体制の具体的な取組については、これから調整になるところが多く、今後どのような連携を図っていくかが課題となるほか、広域医療体制が充実されることで、村の国保診療所の運営にも影響を与える側面があることも懸念している。



村政を問う

一般質問



馬場 栄三 議員

Q 新型コロナウイルスワクチン接種について

問 当村の接種計画と進捗状況について伺う。

村長 75歳以上の希望者につきましては、2回目の接種が終わったところで、65歳から74歳までの希望者が7月中旬頃、50歳から64歳までの希望者が7月下旬頃、16歳から49歳までの希望者が8月下旬頃までには接種を終える計画である。

問 予防接種の場合同一製薬会社製ワクチンか。個人負担はあるか。

か。 負担金額を伺いたい。

村長 2回行うワクチンは同一製薬会社製ワクチンを使用。次期以降個人負担が発生するかについては、国からの指示に従い適宜対応する。

問 村でも16歳以下に、接種対象者を引き下げる考えなのか伺いたい。

村長 6月1日からファイザー社製のワクチンの使用に限り、接種

対象年齢が12歳まで引き下げられたところであり、保護者の方に十分な説明を行い、理解を得ながら丁寧に進めてまいりたいと考えている。

問 接種後の副反応の事例はないか伺う。

村長 特に重篤化した事例は無い。

Q 博士のトンネルについて伺う。

問 トンネルの供用開始時期について、見通しが示されたのかどうか伺う。

村長 「関係する工事の進捗により、工事の完成が見通せた段階において、速やかに供用時期を公表していく」との回答を得ている。

問 冬期間、夜間の通行確保が必要と考えるか。

村長 効率的な除雪体制となるよう検討を行っている。通行される方々に対する注意喚起は、適宜適切に周知いただけるよう管理者である県に依頼する。

問 生活バス運行について、予定があるのか伺う。

村長 第6次振興計画期間内に、地域公共交通計画を策定することとしている。会津若松方面へのバス試験運行も計画しており、その結果を見た上で判断する。

Q 冬期間の試験運行結果について伺う。

問 試験運行期間中の利用者数及び田島町内の

の利用者数について伺いたい。

総務課長 利用者の延べ人数は99人。なお、南会津町内の利用者数については、この試験が、昭和村が行う自家用有償旅客運送であり、原則として昭和村民のための運送を行うものであることから、南会津町内の集落には停留所は設けなかったため、利用は無かった。

問 試験運行の結果、課題と、行政として、試験運行を踏まえて、どのような考えなのか伺いたい。

村長 通年バス運行については、当たり前の日常が戻ってから、試験運行を再び実施した上で、その結果を検証し、慎重に検討を重ねて実施したい。

村政を問う

一般質問



馬場 政之 議員

Q 何故なのか・議会への説明より早い新聞報道！Wi-Fi設置。

問 全員協議会でも説明は受けている。しかしながら、ここで新聞掲載されたような、このような説明はなかったと記憶している。なぜ全員協議会等での説明が、新聞報道と中身は違ったとは言わないが、隔たりのある説明なのか。これは、例えば若い人と管理職と、意思の隔たりなのか。

村長はどのように考えているのか。

村長 公共インフラWi-Fi整備事業については、第6次昭和村振興計画の「先端技術を活用した各種施策の展開」の項目で、具体的な取組として掲げている。この振興計画については、昨年の12月に策定し、渡部議員がその

代表、青木議員が副というところで、議会から2名の委員の選出もあって、今までになく回数を重ねながら、その策定に関わってきたところである。

12月に策定をして、12月11日からの令和2年第4回昭和村議会定例会の本会議で、報告事項として報告をし、会期中の全員協議会でも説明をしている。

新聞報道との差について、議会閉会後に2つの新聞社が、それぞれ町村の議会の開閉会、あるいは議会ですういう内容の議案が提出されたか、報告事項があったかという取材があり、その中で、この審議結果についての取材があった。某新聞社がWi-Fiと聞いただけで、かなり関心

を持たれて担当セクションに聞き、結果的にこういう新聞報道になった。村としては、議会への説明も済んでいたもので、取材に応じたものであり、報告事項として議会で報告をし、理解をいただいたと感じている。

Q 肺炎球菌ワクチン接種の本村の状況について。

問 高齢者向け肺炎球菌ワクチンは、コロナウイルスに感染した人が細菌性肺炎を併発したり、重症化するリスクを減らす重要な取組であると知りました。定期予防接種は、現在、65歳から5歳刻みになると、高齢者などが自治体の助成を受け

て実施されているそうだが、本村において自己負担金は幾らくらいなのか。また、接種状況と今後の考え方について質問する。

村長 本村における肺炎球菌ワクチン接種については、平成23年度から65歳以上の方を対象に開始しており、接種に係る費用は、千円の自己負担としている。また、65歳時の接種率は、30〜40%程度とあまり高くない傾向にあり、今後、ワクチンの有効性を丁寧にお知らせしながら、接種の奨励に努めてまいりたい。

村政を問う

一般質問



青木 秀元 議員

Q 事業継続と特定地域づくり 事業共同組合について伺う。

問 村は、今年度より、第6次昭和村振興計画をスタートさせた。その中で、「生業と誇りある仕事を生むむら」の課題解決のため、村内商工業者への意識調査を昭和村商工会と連携・協力し実施するとあるが、内容を聞かせいただきたい。そして、第三者継業も質問に入れるべきと考えるが、見解を伺う。

昭和村商工会と協議・検討中であるが、ご提案の第三者継業に関する内容は、意向確認等のニーズを把握するためにも重要なことと考えている。

問 3町村連携のメリットはあるのか伺う。

あるといったことで、なかなか合意形成を図ることも難しいというようにデメリットがあるということも報告されている。

問 雇用を求める事業者はいるのか。マルチワーカーの確保は可能なのか。

村長 設立準備協議会において、今後決定される内容であることから、村として現段階においては答えることができないので、ご理解をいただきたい。

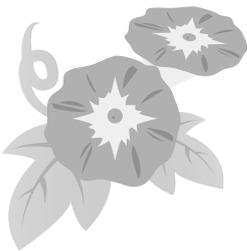
村長 本年第1回議会定例会において、令和3年度の施政方針として、将来を見据えた村内商工業の継続的な経営の確保に向け、昭和村商工会と連携・協力し、村内商工業者への意向確認等のニーズ調査を実施することとしている。

調査項目としての内容については、従業員数や景況感、経営に関する課題など、現在、

問 5月に昭和村商工会主催の特定地域づくり事業共同組合制度説明会の案内が届き、参加した。隣の金山町は、3月に特定地域づくり協同組合「奥会津かねやま福業協同組合」通称かね福が設立されたと聞くが、近隣町村の動向を伺う。

村長 近隣町村の動向については、昭和村、柳津町、三島町において、商工会が主体となり、奥会津地域づくり事業協同組合設立準備

産業建設長 単体の市町村の単位で取り組むよりも、取り組む業種、あるいは事業所の数が多く予想される。そのことで、参画する事業、参画する雇業者、あるいは地域に入ってくる若者など、そういった選択肢が広がるというようなメリットはある。ただ、この3町村、複数の地域で行われる組合の制度に関して、全国でもほとんど例がないというようなことも聞き、この3町村で取り組む場合の、賃金の額に差が



議案の審議

議案の議決結果

6月定例会で審議した議案と、その議決結果です。(審議した順に掲載。)

議案名	議決結果	栗城徳雄	青木秀元	渡部節雄	馬場政之	馬場栄三	栗城敏郎	菅家敏章	束原源伯
昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
昭和村ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
除雪機械購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
令和3年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
昭和村繰越明許費繰越計算書について	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式会社奥会津昭和村振興公社経営状況報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第2期昭和村人口ビジョン及び昭和村まち・ひと・しごと創生総合戦略の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下中津川新田地区(河川道路)における「改良舗装工事」について要望書	採択	○	○	○	○	○	○	欠	議長
下中津川上平地区内生活道路拡幅改良について要望書	採択	○	○	○	○	○	○	欠	議長

議案の審議

議案の議決結果

P9からの続きです。(審議した順番に掲載。)

議案名	議決結果	栗城徳雄	青木秀元	渡部節雄	馬場政之	馬場栄三	栗城敏郎	菅家敏章	束原源伯
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	欠	議長
【議員提出】「森林環境譲与税の按分率の基準を見直すよう求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
【議員提出】「ALPS処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
【議員提出】「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	欠	議長
議長の辞職について	可決	○	○	○	議長	○	○	欠	退
議長の選挙	指名推薦	-	-	-	-	-	-	-	-
副議長の選挙	指名推薦	-	-	-	-	-	-	-	-
常任委員の選任	選任	-	-	-	-	-	-	-	-
議会運営委員の選任	選任	-	-	-	-	-	-	-	-
監査委員の選任について	同意	×	○	×	議長	○	○	欠	退

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「退」は退席、議長は議決に加わらないため議長採決以外は「議長」と表記。



昭和村保育所の子供たちが、役場を訪れ、議場で記念撮影をしました。
 議場では、保育所のお遊戯室より広々と、大はしゃぎ(笑)子供たちの未来のために、議員一同努力してまいります。

表紙写真に
 して

意見書提出

議員提出議案の詳細です。

<p>森林環境譲与税の按分率の基準を見直すよう求める意見書</p>	<p>森林環境譲与税は、地方が間伐等の森林吸収源対策等に係る安定財源の確保及び森林整備の円滑な推進を図ることを主旨としており、私有林人工林面積や国有林との共用林野等の森林整備が必要な自治体に、より多く譲与税が配分されるべきであると考え、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣に対し意見書を提出しました。</p>
<p>ALPS処理水の海洋放出決定について十分な説明と慎重な対応を求める意見書</p>	<p>風評被害対策の具体策が示されることなく海洋放出を決定したことは、復興を目指す本県漁業関係者をはじめ、県民全体に大きな不安を与え、真の復興に水を差す行為であると考え、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣に対し意見書を提出しました。</p>
<p>国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書</p>	<p>令和4年度以降も「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援に必要な財政措置を行い経済的に困窮している家庭の子供たちの就学に対し行き届いた支援が保証されることが必要であると考え、復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣に対し意見書を提出しました。</p>

議案の審議

第4回議会臨時会の議決結果

5月17日に臨時会が開かれました。審議した議案とその議決結果です。

議 案 名	議 決 果	賛 成	反 対
監査委員の選任について	同 意	7	
専決処分の承認について 昭和村税条例の一部を改正する条例	可 決	7	
専決処分の承認について 令和2年度昭和村一般会計補正予算（第12号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和2年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和2年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和2年度昭和村介護保険特別会計補正予算（第5号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和2年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和3年度昭和村一般会計補正予算（第1号）	可 決	7	
専決処分の承認について 令和3年度昭和村一般会計補正予算（第2号）	可 決	7	

※1 議長は採決に加わりません。

専決処分とは

5月17日に開かれた臨時会で「専決処分の承認を求めること」がありました。

専決処分とは、議会が議決又は決定すべき予算や条例を、「緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない」など特定の場合に限り、村長が議会に代わって処理することを言います。専決処分をした場合は、次の議会で承認を得ることとなります。

議会活動の報告

6月議会現地調査

◎調査議員 7名

◎調査地

下中津川新田地区
下中津川上平地区

◎調査目的

下中津川区長より議会に要望があった新田地区河川道路における改良舗装工事と上平地区内生活道路拡幅改良について、議会開会中に現地調査を行い下中津川区長より要望についての説明を受けた。



両沼町村議会議長会自治功労表彰受賞おめでとうございます

馬場政之議長・馬場栄三副議長・東原源伯議員・栗城敏郎議員が議員在職10年以上のご功績により受賞されました。

今後も村政進展のため、いっそうのご活躍をご期待いたします。

(写真右から栗城敏郎議員／馬場政之議長／東原源伯議員／馬場栄三副議長)



● 令和3年第3回定例会のお知らせ ●

令和3年第3回定例会は、9月10日から14日までの日程で予定されています。一般質問は13日の予定です。

※ワクチン接種も順調に行われ、議会傍聴も再開予定であります。

今度の定例会は、令和2年度の決算を認定する議会です。

編集後記

温暖化が影響してか、昭和村の降雪量が少ない傾向にある。平成27年9月の豪雨以来、自然災害がなく推移している。村民にとり何よりの気象環境である。しかし、この一週間の猛暑には閉口する。

さて、村の新型コロナウイルスワクチン接種状況は、行政と医療従事者等、関係機関の周到な計画の下に早期接種完了を願う。村民への議会傍聴が、「自粛傍聴」解除のためにも。(東原源伯)

編集委員

委員長 東原 源伯
副委員長 渡部 節雄
委員 菅家 敏章
馬場 政之